

# 平成25年度 情報化施工技術の積算要領

本積算要領は、中国地方整備局が発注する情報化施工対象工事に適用するものとする。

## 1. データ作成費

情報化施工の実施に必要な3次元データの作成費については間接費に含まれることから別途計上しない。

## 2. 工事費

### (1) 一般化技術（使用原則化技術）

#### 1) TSによる出来形管理技術

費用については間接工事費の率分に含まれることから別途計上しない。

### (2) 一般化推進技術、実用化検討技術、確認段階技術

#### 1) TSによる出来形管理技術（土工）

費用については間接工事費の率分に含まれることから別途計上しない。

#### 2) MC（モータグレーダ）技術

施工費の積算 日当たり施工量（モータグレーダのみ）を1.5倍する  
普通作業員の工数を1/3倍する。

情報化施工機器費を47,000円/日加算する。

初期費を300,000円/式を共通仮設費の技術管理費に計上する。

#### 3) TS・GNSSによる締固め管理技術

費用については間接工事費の率分に含まれることから別途計上しない。

#### 4) MC（ブルドーザ）技術

施工費の積算 日当たり施工量（ブルドーザのみ）を1.35倍する  
補助労務は標準とおりとする。

情報化施工機器費を43,000円/日加算する。

初期費を300,000円/式を共通仮設費の技術管理費に計上する。

#### 5) MG（ブルドーザ）技術

施工費の積算 日当たり施工量及び補助労務は標準とおりとする。

情報化施工機器費は別途業者見積による単価を加算する。

6) MG (バックホウ) 技術 (3D 技術のみ)

施工費の積算 日当たり施工量 (バックホウ) を  
掘削積み込みを 1.2 倍する  
法面整形 を 1.1 倍する  
補助労務は標準どおりとする。

情報化施工機器費を 52,000 円/日加算する。

初期費を 240,000 円/式を共通仮設費の技術管理費に計上する。

7) TS による出来形管理技術 (舗装工)

費用については間接工事費の率分に含まれることから別途計上しない。

8) MC (路面切削機) 技術

施工費の積算 日当たり施工量及び補助労務は標準どおりとする。

情報化施工機器費は別途業者見積による単価を加算する。

9) MC (アスファルトフィニッシャー) 技術 (3次元MC)

施工費の積算 日当たり施工量及び補助労務は標準どおりとする。

情報化施工機器費は別途業者見積による単価を加算する。

注) 複数の技術の場合でも、初期費は技術毎に計上するものとする。

初期費とは、情報化施工機器の機械取付調整費、GNSS の電波受信状況の調査、TS の設置場所の調査など施工を行うまでの関係費用である。

3. 情報化施工調査費

情報化施工状況調査費として 1 技術毎に 10,800 円を共通仮設費の技術管理費に計上する。

なお、簡易アンケートについての費用は計上しない。